

美しい音色で
全国の舞台で躍動



5月29日、家村舞音さん(鹿屋高校3年)が市役所を訪れました。これは、今年3月に東京都で開催された「第46回全日本ジュニアクラシック音楽コンクールフルート部門高校2年生の部」での第1位入賞を報告したもの。家村さんは「将来は聴く人の心に残るような演奏家になりたい」と将来の展望を語った後に、フルートの生演奏を披露し、美しい音色を響かせました。

夜の闇夜に舞う
ホタルを楽しむ



5月25日～6月1日、輝北町平房で「ひらぼうはたるの里はたる祭り」が開催されました。同地区はゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルの3種類が見られる場所で、地元有志で組織される「はたる飛ばせ隊」が環境保全を行っています。初日には平房活性化センターでオープニングセレモニーとして野菜の詰め放題やステージイベント等が催され、参加者は日没後、周囲を飛ぶホタルを鑑賞しました。

畜産で新規就農
新たな門出を祝う



5月14日、市役所で「畜産担い手新規就農者の就農開始資金贈呈式」が行われました。これは、市の研修支援制度を活用し、研修を終了した新規就農者に資金を贈呈して就農を支援するもの。坂口功斗さん(旭原町)は串良町有里の西之原畜産で2年間の研修を終え、今年5月から市内で就農を開始。「研修で学んだことを経営に生かしていきたい」と意気込みを語りました。



かのやのホットな話題をお届け!

書道で文部科学大
臣賞を受賞



5月31日、「第68回毎日全国学生競書展」で文部科学大臣賞を受賞した下村翠月さん(笠野原小学校5年)が市役所を訪れました。書道を幼稚園の年長から始めたという下村さんは今回「毛筆の部」で自身初の最高賞を受賞。作品は3月に太宰府天満宮(福岡県)に奉納され、3月21日～28日まで展示されました。「受賞の話をお母さんから聞いた瞬間飛び上がって喜んだ」と喜びを報告しました。

18連勝などで
B2リーグ昇格



5月31日、鹿児島市を拠点とするプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の選手や関係者が市役所を訪れました。同チームは本市でも試合や合宿を行っており、今季はシーズン3位でプレーオフ決勝に進出。これによりB2リーグへ昇格しました。小牧正英代表取締役副社長は「相手のレベルも上がるので、観客の皆さんに面白い試合を見せられるように頑張りたい」と語りました。

北海道と鹿児島
の祭典



5月18・19日、リナシティかのやで「かのやMeets2024〈北海道と鹿児島への祭典〉」が実施されました。これは食と文化を通じた地域の交流を目的に初開催されたイベント。北海道東川町を中心とした10店、県内から屋台を含む35店が集ったフードマーケットのほか、音楽ライブや子どもたちによる商売体験等が行われました。約1万1,000人が来場し、地ビールやお肉などのグルメを楽しんでいました。

花を持ち寄り
感謝を伝える



5月15・16日、市内各地で「花の日訪問イベント」が行われました。「花の日」とは、花を持ち寄って病院への慰問や各種施設を訪問するキリスト教の行事で、市内では毎年「認定こども園信愛こどもの園」が実施しています。当日は、同こども園の園児が市役所や市立図書館など8か所を訪れ、日頃からお世話になっている人たちに花を手渡したほか讃美歌の披露や感謝の言葉を贈りました。

歯に関するコンテ
スト等の受賞者を表彰



6月1日、リナシティかのやで歯に関するコンテスト等の表彰式が行われました。これらは6月4日～10日の「歯と口の健康週間」を機会に、歯の大切さや口の健康について考えてもらうことを目的としており、当日は「いきいき歯っぴいメモリアル図画・ポスター展」「歯っぴいスマイルコンテスト&歯みがき動画コンテスト」「8020優良者」の各受賞者に表彰を行いました。

全ての子どもに
優れた舞台芸術を



5月17～23日、「鹿児島県子ども芸術祭典」が開催され、市内7会場(県内89会場)で人形劇団クラルテによる人形劇が行われました。同祭典は全ての子どもたちに優れた舞台芸術に触れる機会を提供することを目的に県内の「子ども劇場」が主催したもので、今年で36回目。期間中は市内7会場に約800人が訪れ、多くの子どもたちが目の前で繰り広げられる人形劇を真剣に見つめていました。

デジタル技術で
業務効率化を図る



5月20日、陳内裕樹氏を「鹿屋市DX(デジタルトランスフォーメーション)アドバイザー」に委嘱しました。同氏はこれまで内閣府クールジャパン・プロデューサーや総務省DXアドバイザーを務めており、多くの自治体でDX推進等の実績があります。今後は業務効率化など、デジタル技術を活用した本市の課題解決に向けて、DX分野での専門的な助言や支援を行います。

高校生とともに
高須海岸を清掃



5月18日、高須海岸で鹿屋西ロータリークラブによる海岸清掃が行われました。これはウミガメの上陸時期に合わせて毎年実施されているもの。当日は市内の高校生も多数参加し、約1時間かけて海岸にあるプラスチックごみや流木等を拾いました。田代菜花さん(鹿屋中央高校2年)は「ゴミを拾って、もっとウミガメが帰ってきてもらえるようなきれいな海岸にしたい」と語りました。